



多胡碑の謎を解く－呪物としての石碑－

多胡碑は上野三碑のひとつとして古代史の文脈で語られることが多いが、民俗の世界では「羊太夫の墓」などと呼ばれ、民間信仰の対象になっている。
興味深い伝説や俗信が多く残されているため、民俗学的視点からの研究で、近代以前の庶民の価値観や歴史観を知ることができる。
この講座では、近世（江戸時代）の史料と口頭伝承をもとにして、謎めいた伝承が多々語られた理由を考える。

講師：佐藤 喜久一郎 氏（育英短期大学講師）

日時：令和4年3月15日（火）13時30分～15時30分

場所：高崎経済大学 図書館ホール

方式：ハイフレックス型（対面＋オンライン配信）

定員：50名（応募者多数の場合は抽選）

申込：はがき、FAX、Eメールまたは申込フォーム（QRコード参照）にて地域科学研究所へ **3月4日（金）必着**

《講師プロフィール》 佐藤 喜久一郎（さとう きくいちろう）

伊勢崎市生まれ。民俗学者。

筑波大学大学院 博士課程 歴史・人類学研究科修了 博士（文学）。

専門は歴史民俗学、宗教民俗学。

著書『近世上野神話の研究 在地縁起と伝承者』（2007 岩田書院）

共著『山伏の地方史 群馬の修験道』（2017 みやま文庫）など

お申込み

お問合せ

高崎経済大学地域科学研究所（事務局 研究グループ研究支援チーム）

〒370-0801 高崎市上並榎町1300番地

電話：027-344-6267 FAX：027-343-7103

E-mail：chiikikagaku@tcue.ac.jp

